



市民の皆様が選んだ「身近に感じる自然や大切に残したいと思う生きもの等」について、取りまとめました！

## ～ 京都生きもの100選～ 〔 京都市の生物多様性の保全上重要な生きものやその生息・生育場所 〕

### 1 大田神社（大田ノ沢）のカキツバタ

北 区

大田ノ沢に群生するカキツバタです。平安朝の頃から名所として知られ、見頃となる5月には花の紫と葉の緑の美しい姿を望むことができます。



【国指定天然記念物】大田ノ沢のカキツバタ群落

### 2 加茂街道の並木

北 区

加茂街道の沿道にはサクラやケヤキ等が続き、街道を覆うように大きく茂った並木は四季折々の美しい景色を楽しませてくれます。



### 3 か も わ け い か づ ち ま っ し ゃ ふ じ の き の や し ろ 賀茂別雷神社末社藤木社のクスノキ

北 区

小さな社を覆うような樹高約 14 メートルのクスノキです。周囲の景観にとけ込んでおり、伸びやかに育った大樹は地域の人に大切にされています。

【市指定保存樹】



### 4 北山杉

北 区

中川地区等に植林された北山杉は、磨き丸太等の床柱で有名であるほか、「台杉仕立て」と呼ばれる独特の育林方法でも知られています。台杉仕立てでは、樹齢 300 年を超える株もあり、自然環境を持続的に利用してきた人々の知恵と歴史を知ることができます。



写真撮影：神崎順一

### 5 大徳寺のイブキ

北 区

樹齢約 350 年といわれるイブキで、地上約 3 メートルで 5 つの幹に分枝し、共にねじれながら斜上しており、イブキの中でもまれに見る巨木です。

【市指定天然記念物】大徳寺のイブキ



## 6 船岡山の森（照葉樹林）

北区

船岡山にはカシ類やシイ類等の照葉樹を中心にした貴重な森が残されています。また、都市の中にあって人々の憩いの場として親しまれています。



写真撮影：神崎順一

## 7 みぞろがいけ 深泥池

北区

深泥池は、京都盆地の北にある周囲 1.5 キロメートル、面積 9 ヘクタールの小さな池です。この池には、西日本の平坦地では珍しい浮島があります。また、氷河期以来の動植物が今も生き続けるとともに、多くの水生植物、昆虫、魚類、野鳥等がいます。

【国指定天然記念物】深泥池生物群集



## 8 京都府公館・京都府立府民ホールのエノキ

上京区

樹高約 26 メートルのエノキで、枝葉を茂らせ、空洞のない立派な主幹が堂々と上部に伸びており、見栄えのする大木です。

【府指定天然記念物】旧府知事公舎のエノキ



## 9 堀川通のイチョウ並木 上京区

紫明通から今出川通にかけて、イチョウの大木が続いており、四季折々の景色の美しさから人々に親しまれています。



## 10 本隆寺のタカオカエデ 上京区

タカオカエデはイロハモミジの別名で、樹高約7メートル、幹周約2メートルの大木です。秋には、名木の多い本隆寺の境内でも、ひととき美しく紅葉します。

【市指定保存樹】



## 11 大原のシャクナゲ尾根 左京区

大原のシャクナゲ尾根にはたくさんのホンシャクナゲが生育しています。尾根からの景色も美しく、登山の場としても人々に親しまれています。



写真撮影：神崎順一

## 12 貴船神社のカツラ

左京区

貴船神社の全ての境内(本宮・奥宮・結社)<sup>ゆいのやしろ</sup>には、信仰の対象となっている巨大なカツラが自生しており、大木として貴重な存在です(写真)。また、奥宮本殿の裏(東北)側には、貴船溪谷の古い時代の自生種とみられる巨大なカツラがあり、京都市指定天然記念物に指定されています。

【市指定天然記念物】貴船神社のカツラ



## 13 貴船の相生大杉

左京区

貴船神社の沿道にそびえ立つ2本の巨大なスギです。2本の幹が寄り添う姿が夫婦に例えられ、相生(相老)の杉と呼ばれています。



## 14 鞍馬山

左京区

日本列島の生き立ちを物語る地質を持つ鞍馬山には、スギやヒノキの巨木をはじめ、植物や昆虫等多くの生きものが息づいており、社寺林として守り継がれてきた豊かな自然の多様性は「木の根道」など独特の景観を生み出しています。鞍馬寺では、山内全域を「鞍馬山自然科学博物苑」と名付け、鞍馬山の豊かな自然環境を後世に伝える取組が行われています。



## 15 山村都市交流の森

左京区

山村都市交流の森は、山村文化と豊かな自然に触れることができる森林エリアです。自然観察やハイキング、木工等を楽しむことができます。



## 16 大悲山<sup>ぶじょうじ</sup>峰定寺

左京区

大悲山は、山岳信仰の地として守られてきました。スギやモミの大木等、豊かな自然が残っており、野鳥やカモシカ、さらにはツキノワグマをはじめとする大型の哺乳類等の生息地となっています。

- ※ 大悲山峰定寺への入山は、有料となります。
- ※ 参拝者の安全確保のため、原則として
  - ・雨天時及び冬季（12月1日～3月31日）
  - ・20人以上の団体及び10歳未満の子供は、入山禁止となっています。



【花背大悲山京都府歴史的な自然環境保全地域】

## 17 宝が池公園

左京区

宝が池公園では、コバノミツバツツジ、ミヤコツツジ等の植物や里山の自然を見ることができます。また、市民等が協力してナラ枯れ対策や外来植物の防除等に取り組んでいます。



## 18 <sup>なからぎ</sup>半木の道のシダレザクラ

左京区

半木の道<sup>\*</sup>は、74本ものシダレザクラが植えられた花回廊です。1966（昭和41）年の植樹に始まり、長年にわたって京都鴨川ライオンズクラブによる育成活動が行われてきました。春にはサクラの花がトンネルのように連なり、賀茂川を彩る風景の一つとして親しまれています。



〔※ 賀茂川左岸（東）側の堤防道（北山大橋から北大路橋までの約800メートルの区間）〕

## 19 八丁平

左京区

八丁平は2万年以上の歴史を持つといわれている高層湿原です。優れた景観が広がり、日本一小さなハッチョウトンボも生息しています。



【府登録天然記念物】ハッチョウトンボ

写真撮影：神崎順一

## 20 花脊の三本杉

左京区

三本杉は峰定<sup>ぶじょうじ</sup>寺領内にあるスギで、一つの根元から3本の幹がまっすぐ力強く空へと伸びています。人々からの信仰が厚く、大事に守られています。



写真撮影：神崎順一

## 21 花脊のダイスギ

左京区

花脊に点在する5本のダイスギ（アシウスギ又はウラスギとも呼ばれています。）の巨木です。日本海側のスギの特徴を持つ貴重なものとされています。

【市登録天然記念物】花脊のダイスギ



## 22 花脊の天然伏条台杉群

左京区

花脊の鍋谷山一帯に生育するアシウスギの群落で、伏条台杉は根際近くから何本も枝が生える巨大な杉です。樹齢1,000年を超える株もあります。

【市指定天然記念物】花脊の天然伏条台杉



## 23 平安神宮神苑の水生生物（イチモンジタナゴ等）

左京区

琵琶湖疏水を通じて琵琶湖から水を引いていた平安神宮の池は、琵琶湖固有の希少な魚類が生息する貴重な環境となっています。





## 24 吉田山（神楽岡）

左京区

吉田山は街中に残る貴重な緑地として、自然観察や市民の憩いの場となっています。また、周辺住民が中心となり森林の再生に取り組んでいます。



写真撮影：神崎順一

## 25 北野天満宮御旅所の クロガネモチ

中京区

北野天満宮御旅所の南西にあるクロガネモチは通りからもよく見え、手厚く保護された木は青々とした葉をつけています。



【市指定保存樹】

## 26 本能寺のイチョウ

中京区

樹高約 18 メートル、幹周約 4 メートルのイチョウです。火事の際に木の周りに集まった人々を救ったと伝えられており、「火伏せのイチョウ」とも呼ばれています。



【市指定保存樹】

## 27 祇園白川南通の桜並木

東山区

祇園白川の川沿いにはソメイヨシノやシダレザクラ、ヤナギ等が植えられています。昼も夜も京都らしい風情に彩られた景色を楽しませてくれます。



## 28 しょうれんいん 青蓮院のクスノキ

東山区

樹齢800年といわれる5本のクスノキで、親鸞聖人お手植えと伝えられ、京都市の天然記念物に指定されています。

守り神のような風格を漂わせる姿は、神宮道の眺めを彩る要素となっています。

【市登録天然記念物】青蓮院のクスノキ



## 29 方広寺大仏殿跡緑地のケヤキ

東山区

方広寺大仏殿跡緑地には、かつて樹齢約400年といわれる大きなケヤキが3本ありました。このうちの2本については、倒木及び倒木の危険があったため伐採されていますが、現在も残る1本のケヤキは、地域の身近な自然として、安らぎを与えてくれる存在です。



## 30 円山公園のサクラ

東山区

円山公園は京都市で最も古い公園で、サクラの名所として知られています。特に園内の中央にあるサクラは、「祇園枝垂れ桜」として有名です。



## 31 元有濟小学校のムクノキ

東山区

元有濟小学校のムクノキは神木として大切に守られています。学校の建物もこのムクノキを避けて建てられています。



## 32 音羽山のミドリセンチコガネ

山科区

ミドリセンチコガネは鮮やかな緑色の金属光沢を帯びた甲虫で、オオセンチコガネの地域的な色彩変異を示す名称です。多くは赤紫色ですが、近畿地方においては、京都市音羽山周辺から滋賀県琵琶湖東南部にかけて生息するものをミドリセンチコガネ、奈良県・和歌山県に生息するものをルリセンチコガネと呼びます。シカやイノシシ等哺乳類の糞<sup>ふん</sup>を主食としています。



写真撮影：河合嗣生

### 33 つづらじり 葛籠尻の小町カヤ

山科区

何本かのカヤの大木が見られる山科区小野周辺ですが、葛籠尻や西浦にあるカヤは特に大きく、小町カヤと呼ばれています。種子から採れる油は、食用や灯火、整髪油として人々の生活に役立ってきました。



### 34 梅小路公園いのちの森

下京区

梅小路公園いのちの森は、整備後に自然に生えてきた植物や、草花に集まった昆虫や野鳥等によって、多様な動植物が生息・生育する環境となっています。



### 35 西本願寺のイチョウ

下京区

御影堂前には、樹齢約400年といわれる京都市指定天然記念物のイチョウがあります（写真左）。また、阿弥陀堂前の整った円形に仕立てられたイチョウは、京都市指定の保存樹となっ



ています（写真右）。いずれも人々の信仰の中で親しまれてきた古木です。また、古来より火災時に類焼を防ぐ役割も果たしてきました。

【市指定天然記念物】本願寺(西本願寺)のイチョウ  
【市指定保存樹】

京都市の生物多様性の保全上重要な生きものやその生息・生育場所

## 36 龍谷大学（大宮学舎） のイチョウ

下京区

このイチョウは、明治初期の開校時には既に大木として存在していました。通りからもよく目立ち、他の樹木と共に人々に安らぎを与えています。

【市指定保存樹】



## 37 おおさわのいけ 大沢池

右京区

大沢池は大覚寺の境内の東に位置し、周囲約1キロメートルの日本に現存する最古の庭池です。およそ1,200年前、嵯峨天皇の離宮嵯峨院造営に当たり造られたもので、「庭湖」とも呼ばれています。大沢池の周りには、カエデ類やサクラ等が数百本植えられています。水辺には多様な生物が生息しているほか、夏になるとアオバズクが訪れ、秋になると近くの水田でノビタキを観察することができます。



## 38 常照皇寺のサクラ

右京区

常照皇寺には天然記念物「九重桜」や、一重と八重が一枝に咲く「御車返しの桜」等の名木があり、花の時期には多くの人でにぎわいます。

【国指定天然記念物】常照寺の九重ザクラ  
【常照皇寺京都府歴史的な自然環境保全地域】



## 39 つきのおでら 月輪寺のホンシャクナゲ

右京区

樹齢 500 年といわれるシャクナゲは、株立ちしており、樹高が約 4 メートル、幹周が最大で 46 センチメートル、樹冠幅が最大 10 メートルと大きな株です。

【市登録天然記念物】月輪寺のホンシャクナゲ



## 40 双ヶ岡

右京区

双ヶ岡は 3 つの峰が連なる丘陵地です。シイ類やカシ類等の自然林が広がり、自然と触れ合える場所として親しまれています。



写真撮影：神崎順一

## 41 ひろさわのいけ 広沢池

右京区

広沢池は人工のため池で、古くから重要な水源として農業を支えています。また、マガモやケリ等の鳥類やトンボ類等が多く生息しています。



## 42 小畑川の桜並木

西京区

小畑川の岸边にはソメイヨシノやシダレザクラ等約 500 本のサクラが植えられています。春には「らくさいさくら祭」が行われ、多くの来場者でにぎわいます。



写真撮影：神崎順一

## 43 西芳寺川

西京区

西芳寺川にはサワガニや魚類、希少なオオトゲエラカゲロウ等多くの水生生物が生息しています。6月頃には上流部でゲンジボタルを見ることができます。



写真撮影：神崎順一

## 44 ポンポン山の里山環境

西京区

ポンポン山は薪や炭を得るために古くから利用されてきた山です。かつての薪炭林にはカタクリ群落が生息しており、地域ボランティアによる保全活動が行われています。また、山の北側斜面に広がる大原野森林公園では、動植物の調査や里山保全活動が行われています。



## 45 松尾大社周辺の森（照葉樹林）

西京区

松尾大社の森には、貴重な照葉樹林が残っています。南方系のつる植物であるカギカズラは、気候条件からこの地域が分布の北限と考えられています。

【市指定天然記念物】松尾大社のカギカズラ野生地



## 46 洛西ニュータウンの街路樹

西京区

洛西ニュータウンにはケヤキやイチョウ等の街路樹が植栽され、市民に親しまれています。



## 47 宇治川観月橋下流のツバメの集団飛来地

伏見区

宇治川の観月橋下流左岸の大規模なヨシ原はツバメの集団飛来地となっています。繁殖のために南方から渡ってきた数万羽のツバメが集団でねぐらをとります。





## 48 旧千本通（伏見区横大路）のエノキ

伏見区

旧千本通はエノキが多いことから、かつてはエノキ街道とも呼ばれており、市内でも有数のエノキの巨木が生育しています。



## 49 久我神社のクスノキ

伏見区

古来より、久我神社の森を「久我の杜」といい、神社を「森の明神」と呼んできました。和歌にも、「木々にはふ 薦紅葉せり 久我の杜 淀の渡りや 時雨しつらむ」と詠まれるなど、古くから有名でした。周辺が宅地化されるなか、久我の杜の名残である神社の緑は貴重な存在です。



【市指定保存樹】

## 50 金剛王院（一言寺）のヤマモモ

伏見区

金剛王院の境内にある樹高約9メートル、幹周約3メートル、樹冠幅10メートルのヤマモモは、古木として周辺の人々に親しまれています。



【市登録天然記念物】金剛王院(一言寺)のヤマモモ

## 51 城南宮の森

伏見区

平安時代に創建された城南宮は、クスノキやシイ等の大木をはじめ、100種類以上の草木が植えられており、鳥のさえずりに包まれています。自生のツバキや150本のシダレウメ、色とりどりのツツジが季節の移ろいを告げるほか、秋には、紅葉が池に映る姿や、苔の緑との対比が美しい紅葉の名所として、参拝者や市民に親しまれています。



## 52 向島の宇治川南岸域

伏見区

伏見区向島の宇治川南岸域は野鳥の越冬地や渡りの中継地、生息地として重要です。また、巨椋池を干拓した農地も草地性の野鳥の生息地となっています。



## 53 桃山丘陵の森

伏見区

桃山丘陵の広大な森には、ショウナンボクの並木や名木・巨木が多く、野鳥を身近に見ることができる豊かな自然が残っています。

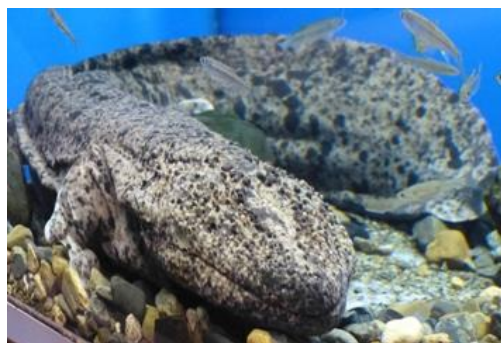


写真撮影：神崎順一

## 54 オオサンショウウオ

3,000 万年前から姿を変えていないオオサンショウウオは、世界最大級の両生類で、国の特別天然記念物に指定されています。京都市では賀茂川や清滝川等に生息しています。

【国指定特別天然記念物】オオサンショウウオ



## 55 かたなみ 片波川源流域・ 伏条台杉群生地

片波川の源流域は、京都府内でも数少ない自然度の高い地域で、ホンシャクナゲと針葉樹からなる群落や伏条台杉等があり、独特の景観を形成しています。

【片波川源流域京都府自然環境保全地域】  
【府指定天然記念物】下黒田の伏条台杉群



## 56 桂川

桂川には、130 種余りの野鳥の観察記録があり、オオサンショウウオやカヤネズミ等のほか、タコノアシ等の湿地性植物等、貴重な動植物が多く生息・生育しています。

【国指定特別天然記念物】オオサンショウウオ



## 57 清滝川

清滝川は美しい渓谷が続く紅葉の名所として知られています。また、ゲンジボタルやオオサンショウウオ、カジカガエル等の水辺の生物が多く生息しています。

【国指定天然記念物】清滝川のゲンジボタル及びその生息地  
【国指定特別天然記念物】オオサンショウウオ



## 58 ゲンジボタル

清滝川や哲学の道、琵琶湖疏水、西芳寺川等で見られます。例年、5月から7月にかけて成虫が現れ、淡い光を放ちます。

【国指定天然記念物】清滝川のゲンジボタル及びその生息地  
【市登録天然記念物】「哲学の道」のゲンジボタル及びその生息地



## 59 モリアオガエル

モリアオガエルは、森林の池や沼、湿地環境のほか、お寺や神社の木々に囲まれた池など身近な場所でも見られるカエルです。池等が下に広がる木の上に白い泡に包まれた卵を産卵します。





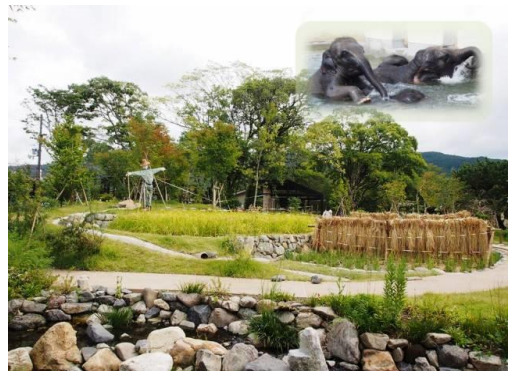
市民の皆様が選んだ「身近に感じる自然や大切に残したいと思う生きもの等」について、取りまとめました！

## ～ 京都生きもの100選～ 〔京都市内の生物多様性保全に関する市民や事業者の取組〕

### 60 京都市動物園の取組

左京区

京都市動物園では、絶滅のおそれのある野生動物の飼育下繁殖を通して種の保全に取り組んでおり、ラオスとの国際共同プロジェクトによる生息地での種の保全のほか、ツシマヤマネコやイチモンジタナゴの保全を行っています。また、2015（平成27）年にオープンした「京都の森」を、環境教育の実践ゾーンとして活用しています。



### 61 京都駅ビルの取組

下京区

京都駅ビルには、京都の原風景を再現した緑化施設が整備されています。太陽光発電の電力により、雨水や地下からの湧水を植物への給水に用いるなど、自然エネルギーを利用する工夫が随所に見られます。また、京都の伝統や文化と生物多様性との関わりなど、ユニークな視点での情報発信もなされています。



## 62 京都水族館の取組

下京区

京都水族館では、丹波の山々から海に至る生態系のつながりを表現した展示や、環境教育、絶滅のおそれがある生きものの保護・繁殖に取り組んでいます。



## 63 東本願寺と環境を考える市民プロジェクトの環境保全活動

下京区

かつて琵琶湖とつながっていた東本願寺境内のお堀や飛地境内地である名勝渉成園の池には、現在でも多様な生きものが生息しています。「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」の取組として、お堀の清掃等の環境保全活動が行われています。また、渉成園では、定期的に自然観察会が開催されています。



## 64 小倉山再生プロジェクト

右京区

小倉山の景観を代表するアカマツ林を再生させるため、産官民の連携により病害虫に強い抵抗性アカマツの植樹が行われています。



## 65 大原野森林公園の自然保護活動

西京区

大原野森林公園では、遊歩道を歩いて希少な草花等を観察することができます。ヤマブキソウやフクジュソウの群落など希少植物の宝庫です。こうした豊かな自然環境を守るため、間伐や下草刈り等の里山保全活動が行われています。



## 66 <sup>おしお</sup>小塩山のカタクリとギフチョウの保護活動

西京区

小塩山山頂付近の落葉樹林下にはカタクリとギフチョウが生育し、4月中旬には多くの市民が訪れます。その環境を保全するため、森林間伐や獣害対策といった活動が、洛西ニュータウンの住民を中心に行われています。

【小塩山京都府歴史的な自然環境保全地域】  
【府登録天然記念物】ギフチョウ



## 67 カヤネズミの保護活動（桂川）

桂川では、カヤネズミの保護と生息地の保全を目的とした調査や、自然環境の保全や生態系への理解を深めるための普及啓発活動等が行われています。



## 68 チマキザサ再生プロジェクト

祇園祭の厄除けちまきや和菓子等に利用されるチマキザサを保全するため、生育地の保護や保護区画内への苗の移植、里親活動等が、生育地の花脊・別所地域や祇園祭の鉾町において、研究者、市民有志、行政等の連携により行われています。



## 69 フジバカマの保全活動

大原野神社での活動をはじめ、秋の七草の一つであるフジバカマを保全するため、市民や活動団体が連携し、保全活動に取り組んでいます。これらの活動で保全されているフジバカマは、大原野地域で自生していた希少なものです。このフジバカマの花には、海を隔てて長距離を移動するチョウであるアサギマダラ等が蜜を求めて飛来します。



## 70 フタバアオイの保全活動

葵祭等で用いられるフタバアオイは、近年、その生育地が少なくなっています。市民や活動団体等がフタバアオイの保全・再生活動に取り組んでいます。







市民の皆様が選んだ「身近に感じる自然や大切に残したいと思う生きもの等」について、取りまとめました！

## ～ 京都生きもの100選～

〔京都市の観光や伝統文化を支える生物多様性の情報〕

### 71 上賀茂神社の森

北区

平安京が造られる以前から信仰の地であった上賀茂神社では、山城原野の名残といわれる貴重な生態系が守られてきました。巨木と清流、社殿の調和が美しい自然・文化遺産です。



### 72 雲ヶ畑

北区

雲ヶ畑地域には豊かな山村環境が残っており、オオサンショウウオ等も生息しています。また、市民団体等が間伐をはじめとする森林整備や自然観察会等を行っています。



写真撮影：神崎順一

【国指定特別天然記念物】オオサンショウウオ

## 73 平野神社のサクラ

北区

平野神社は京都を代表するサクラの名所として親しまれています。品種が多く、3月中旬から4月下旬までサクラを楽しむことができます。



## 74 北野天満宮のウメ

上京区

北野天満宮には50種、約1,500本のウメが植えられており、訪れるたびに違った花を楽しむことができます。京都随一のウメの名所として知られています。



## 75 京都御苑

上京区

京都御苑は、京都御所などを囲む国民公園です。江戸時代には200もの宮家や公家の屋敷が建ち並んでいました。石垣に囲まれた公園になったのは明治時代になってからのことです。現在では、平安時代から幕末までの史跡はもちろん、樹齢100年を越す巨木や、様々な野鳥、草花、キノコなどを見ることができる自然豊かな憩いの場となっています。



## 76 岩倉の田園環境

左京区

岩倉は山に囲まれた地域で、古くから農林業が盛んでした。現在も水田や里山の環境が受け継がれており、様々な昆虫を見ることができます。



写真撮影：神崎順一

## 77 永観堂の紅葉と動植物

左京区

東山に近接する永観堂は、紅葉の名所として知られていますが、その境内には様々な小動物が生息しています。夏には、モリアオガエル、サワガニ、クマゼミ、トンボ類が見られ、冬には、ジョウビタキ、ルリビタキ、イカルなどの野鳥が飛来します。さらに、タヌキやムササビが姿を見せることもあります。



## 78 大原の里の田園環境

左京区

大原の里には、人の生活と密接に関わることで育まれた貴重な里山・田園環境が残っており、オオムラサキの保護活動も行われています。



写真撮影：神崎順一

## 79 大原のしそ

左京区

大原のしそは、鮮やかな紫色で香りがすばらしく、これは大原の昼夜の寒暖差が大きいためといわれています。このしそは、しば漬の原料として有名です。



## 80 貴船の動植物

左京区

貴船川に沿った貴船集落一帯には、カツラの大木やキブネダイオウ等の植物のほか、ホタル類など多くの動植物が生息・生育しています。

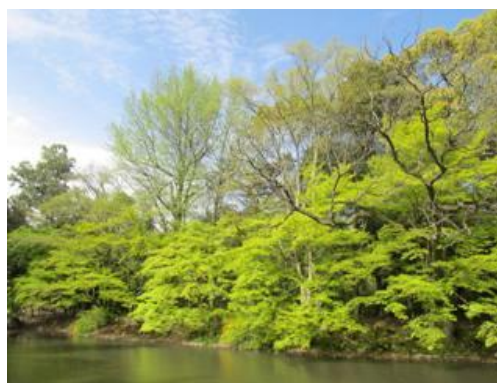


写真撮影：神崎順一

## 81 京都府立植物園

左京区

京都府立植物園には、約1万2,000種類の植物と併せて、多くの昆虫や野鳥も生息しており、市民の憩いの場や学習の場となっています。



## 82 鞍馬の火祭

左京区

鞍馬の火祭の松明に使われるコバノミツバツツジは、里山の荒廃やシカ等の食害によって個体数が減少しています。

※ 鞍馬の火祭の見学を推奨するものではなく、祭事の安全管理上、主催者は見学の自粛を希望されています。



## 83 下鴨神社<sup>ただす</sup> 糺の森

左京区

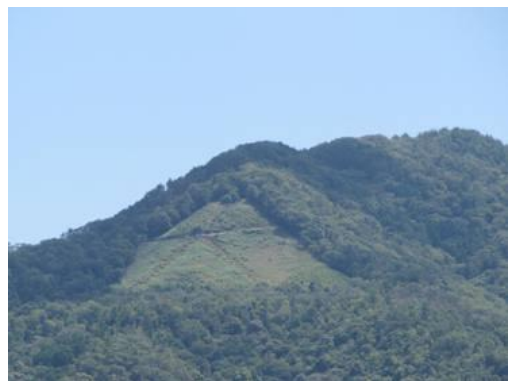
下鴨神社の境内に広がる糺の森は、古代山城原野のニレ科樹木の植生を今に残す学術的に貴重な森で、一帯がユネスコ世界文化遺産に登録されています。多様な動植物が生息しており、都市部にありながら自然豊かな憩いの場として人々に親しまれています。また、日本最古の神幸列とされる下鴨神社の大祭「御蔭祭」<sup>みかげまつり</sup>の切芝神事<sup>きりしばしんじ</sup>が行われるなど、古くから祭祀<sup>さいし</sup>の場として大切にされてきました。



## 84 大文字山・法然院の森

左京区

大文字山一帯及び山麓の社寺林には、多様な動植物が生息する豊かな自然環境が広がっています。



## 85 哲学の道

左京区

琵琶湖疏水沿いにある哲学の道は、サクラの名所として知られ、多くの野鳥や昆虫も見られるなど、自然豊かなところです。また、ゲンジボタルの生息環境を守る市民の取組が行われています。

【市登録天然記念物】「哲学の道」のゲンジボタル及びその生息地

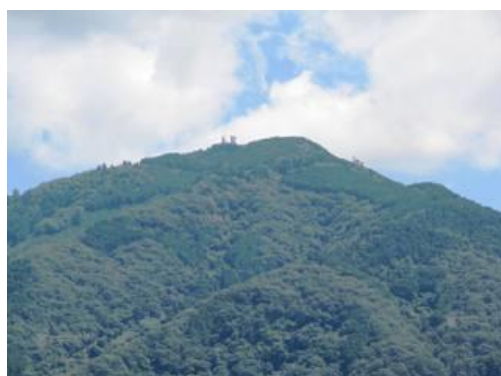


## 86 比叡山の森と野鳥

左京区

古くから信仰の場となっている比叡山には、ブナやモミ等の自然林が残されており、鳥類や昆虫等、多様な動植物を見ることができます。

【国指定天然記念物】比叡山鳥類繁殖地



## 87 ウェスティン都ホテルの裏山（華頂山 野鳥の森・探鳥路）

東山区

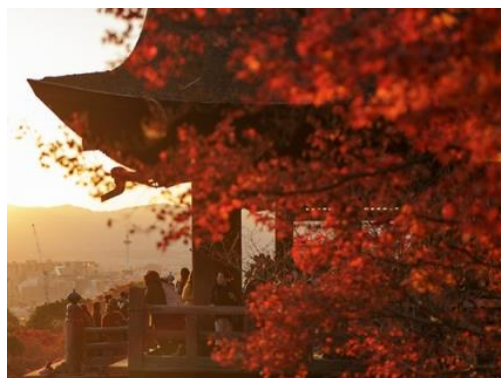
ホテルの裏山・華頂山一帯には、バードウォッチングや森林浴を楽しめる散策コースが設けられ、市街地の近くにあります。自然を身近に感じることができます。ヒヨドリ、メジロ、ウグイスなど数十種類の野鳥のほか、春はサクラ、夏は蝉時雨<sup>せみ</sup>、秋は紅葉、冬は森閑とした山の表情など、四季折々に変化を見せる山の姿を楽しむことができます。



## 88 清水寺のサクラ，紅葉

東山区

東山を背景に建立された清水寺では，ソメイヨシノやカエデ類など，四季折々に変化する美しい自然を満喫することができます。



## 89 蹴上浄水場のツツジ

東山区

蹴上浄水場では，春になると約4,600本の色とりどりのツツジが咲き誇り，その景観は春の風物詩となっています。



## 90 東福寺の紅葉

東山区

東福寺の洗玉澗<sup>せんぎょくかん</sup>と呼ばれる谷には，約2,000本のカエデ類が広がっています。秋には紅葉の絶景を楽しむことができます。



## 91 をけら詣りのオケラ

東山区

をけら詣りでは、八坂神社で「をけら火」をいただき、正月のお雑煮を作って無病息災を願います。オケラはキク科の多年草で、京都府の絶滅危惧種に区分されています。



## 92 山科疏水の景観

山科区

着工から100年以上が経つ疏水沿いは、春はサクラ、秋は紅葉に彩られます。



## 93 東本願寺のスイレン

下京区

東本願寺のお堀に咲くスイレンは、6月上旬から7月下旬に白い花をつけます。午前中に訪れると、朝の光に包まれ美しく咲く姿を鑑賞することができます。





## 94 愛宕山の森

右京区

愛宕山には、スギやヒノキ、アカマツ、コナラ等の森が広がり、秋には紅葉を楽しむことができます。また、シキミの枝は火除けのお守りとされています。



写真撮影：神崎順一

## 95 嵐山の景観

右京区

嵐山は、渡月橋の西にそびえる山で、嵐山を含む桂川の南岸一帯には、野生動物も生息しており、美しく豊かな自然環境を形成しています。また、渡月橋の一带を指す地名にもなっており、この辺りは、サクラと紅葉の名所として知られています。



## 96 越畑の里の棚田と里山

右京区

越畑には山の斜面を利用した棚田が広がり、また、人々の暮らしに深く結びついた里山が残っており、昔ながらの山村の自然と景観を見ることができます。



写真撮影：神崎順一

## 97 嵯峨野の景観

右京区

嵯峨野は京都観光の名所であり、また、多くの動植物が生息しており、花や紅葉、虫の鳴き声等、四季を通して自然を楽しむことができます。



## 98 高雄，檜尾，梅尾の紅葉

右京区

<sup>さんび</sup>三尾と呼ばれるこの地域は、紅葉の名所として知られています。アカマツ等の深い緑の間に紅葉したカエデ類などの植物が広がり、美しい色彩を望むことができます。



## 99 保津峡の景観

右京区

保津峡は保津川の水の力で造られた大峡谷です。大岩壁やそこに張り付くように自生しているユキヤナギやサツキ等が見られます。



## 100 洛西の竹林

西京区

大枝を中心とした洛西一帯の竹林です。たけのこや富有柿等が特産で、古くから人々の暮らしと深く結びついています。



## 101 稲荷山の森（照葉樹林）

伏見区

稲荷山は古くから信仰の場とされ、手が加えられておらず、シイ類やカシ類の照葉樹林が残っています。山城原野の姿を知ることができる貴重な環境です。



写真撮影：神崎順一

## 102 鴨川

市街地を流れる河川であるにもかかわらず、鴨川には多様な動植物が生息しており、野鳥の調査や保護、清掃活動、アユの上る魚道づくり等の取組が行われています。



## 103 京の伝統野菜

京都では、1,200年の永きにわたって町衆はもちろんのこと、宮中や社寺の需要に応じて野菜作りが発展し、数多くの名品を育んできましたが、社会の移り変わりとともに衰退や絶滅の危機にさらされるものもあります。京の伝統野菜は、京都市民の食文化の象徴であり、貴重な遺伝資源でもあります。

青味だいこん、うぐいす菜、えびいも、桂うり、賀茂なす、辛味だいこん、京うど、京せり、京みょうが、茎だいこん、九条ねぎ、くわい、鹿ヶ谷かぼちゃ、聖護院かぶ、聖護院だいこん、すぐき菜、鷹峯とうがらし、京たけのこ、田中とうがらし、畑菜、柘野ささげ、伏見とうがらし、堀川ごぼう、松ヶ崎浮菜かぶ、みず菜、壬生菜、もぎなす、桃山だいこん、山科なす



桂うり



賀茂なす



京たけのこ